

春のよき日



文責(校長 白濱忠昭)

1 素敵なこだわりを持つ「春日っ子」。

朝、校門で子どもたちとあいさつを交わしている時の出来事です。

5年生の男の子とハイタッチをした後、男の子が振り向き、不安げな顔をして立ち止まりました。どうしたのか尋ねると、「校長先生、途中で名札を落しました。」と訴えてきました。私は、名札にはしっかり名前が書いてあるから、誰か拾って届けてくれるよ、と教室に向かうように促したのですが、不安げな顔で立ったままです。どうしたいのか尋ねると、「戻って探したいです。」と一言。その真剣なまなざしから、もの(名札)を大切にしたい気持ちやルール(春日っ子の一日)をきちんと守って登校したい気持ちが、ひしひしと伝わってきました。ただ、子ども一人で探させるのは不安で、交通ボランティアの方も心配されることも予想されたので、私も同行することにしました。



登校時に逆行して歩いてみると、何となく不思議な感覚を持つものです。学校に向かう子どもたちにあいさつを交わしながら、名札を探しました。残念ながら、途中で見つけることができずに、自宅近くまでたどり着いてしまいました。「校長先生、ちょっと家を見てきます。」と照れ臭そうに言って自宅まで走って行きました。しばらくすると、男の子は笑顔で戻り、「校長先生、すみません。玄関に置いていました。」と詫言いました。私も笑顔になりました。彼の胸には、しっかりと名札が付き、素敵な「春日っ子」になっていました。

安心して数メートル歩いていたら、後ろから「ありがとうございました。」と声がしました。振り向くと、男の子のお母さんが深々と頭を下げてくれていました。私が同行してきたことをきちんと報告していたことにも感心しました。また、こうした親の姿勢を常に見て、今のこの子があるのだろうと、想像できました。

その後は、何かを探すために下を向くことなく、男の子ときょうだいのことやおけいごと、中学校に向けての抱負等、楽しく会話をしながら、学校に向かいました。清々しい朝のひと時でした。

春日小のきまりに、「名札をつけ、赤白ぼうしをかぶって登校します。」があります。この男の子のように、そこにこだわりを持って登校する子どもがいっぱいの春日小であり続けることを願っています。

2 学校外で活躍する「春日っ子」を紹介します。

① 第13回お魚の絵コンテスト

お魚の絵コンテストにつきましては、受賞者名簿が学校に送付されてきましたので、全員紹介します。写真は、申し出があつた児童のみにになります。ご了承ください。

- 1年 ○○ ○○ さん 特別賞
- 1年 ○○ ○○ さん 佳作
- 1年 ○○ ○○ さん 佳作
- 2年 ○○ ○○ さん 実行委員長賞
- 3年 ○○ ○○ さん 教育長賞
- 3年 ○○ ○○ さん 特別賞
- 4年 ○○ ○○ さん 佳作
- 4年 ○○ ○○ さん 佳作
- 5年 ○○ ○○ さん 実行委員長賞
- 5年 ○○ ○○ さん 特別賞

② J A 共済小・中学生書道コンクール

- 2年 ○○ ○○ さん 佳作

③ U10小学生バレーボール交流大会

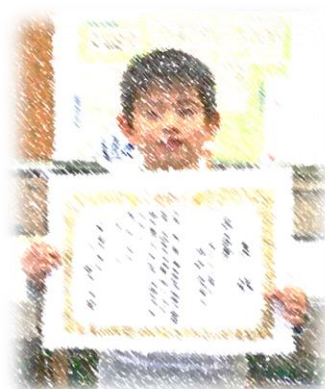
- 大野ジュニアバレーボールクラブ 優勝

④ NKA杯少年ソフトボール新人大会

- 春日・鹿子前少年チーム 第3位



<○○さん>



<○○さん>



<○○さん>



<○○さん>



<大野ジュニアバレーボールクラブ>



<春日小ジュニアソフトボールクラブ>



..... 切 り 取 り

※ ご意見、ご感想がありましたら、子どもたちを通して、ご連絡ください。